

平成30年度 第5次総合計画施策評価シート【年度末用】

担当部署	産業環境課		
------	-------	--	--

基本目標	4 みんなで“活かす”～住み続けられる・魅力あるまちづくり～
施策	20 農業

事業の内容		具体的な事業結果	事業の実効性※1	事業の達成度※2
1	農地の保全・農業生産基盤の整備	畑かん維持管理 修繕料(H30年実績) 畑かん管路漏水破損修繕 22件 3,080,340円 畑かん制水弁等漏水修繕 2件 937,447円 昭和用排水路水障管老朽化対策工事(県営事業) L=368m 工事負担金	B	B
2	農業経営の安定化	新規就農者育成及び農業人材強化の目的のため、扶桑町在住の若者に対し「農業人材強化総合支援事業補助金」として年額150万円の補助金を交付した。また、扶桑町農業委員会農地利用最適化推進会議を2回開催し、農地利用の最適化の観点から遊休農地等の利用等について情報の共有を図るとともに、有効活用について協議を行った。	B	B
3	農業体験の充実	町内の小学生(3年生から5年生)を対象に、わが町に対する愛着や誇りを育むことを目的とし、地産地消や食育を含め町の特産品である守口大根について、守口大根の生産農家3戸と町内の漬物加工業者の協力を得て、3年にわたる作業工程のうち収穫・漬け込みを体験し、製品になるまでの学習を行った。	B	B
4				
5				
6				

めざそう値・指標名	指標の定義	基準値(H28)	実績値				
		目標値(H34)	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
1 認定農業者数	認定農業者の数(経営体)	10	10				
		15	×				
2 認定農業者による農用地利用集積面積	認定農業者による利用権設定農地の面積(ha)	35	49	年間3haの増加を目標としており、達成していると考え			
		50	○				
3							
4							

評価を踏まえた来年度以降の課題

農業分野における担い手不足解消に向け、新たな農業経営を営もうとする者の確保・育成をするとともに、主要農業者である認定農業者へ誘導するための支援が必要である。

評価を踏まえた来年度以降の改善策

愛知県尾張農林水産事務所農業改良普及課、愛知北農業協同組合、農業委員会及びその他の農業団体と更なる連携の強化、また、新規就農者の情報収集に努める。
また、各農業者が順調に計画を実行できるよう、農業者に対し遊休農地等の情報発信及び指導徹底を図る。

※1 事業の実効性 A・・・適切(100%) B・・・おおむね適切(60%) C・・・やや不適切(30%) D・・・要改善(0%)

※2 事業の達成度 A・・・達成(100%) B・・・おおむね達成(60%) C・・・一部達成(30%) D・・・未達成(10%)